

藝文やまなし

題字 金井 昭堂（芸術文化協会参与）



平成21年3月号

Vol.20

CONTENTS

- ◆会長随想…………… 2
- ◆県民文化祭への参加状況…………… 3
- ◆各受賞者の紹介…………… 4～5
- ◆部門の紹介…………… 6
- ◆国民文化祭の紹介…………… 7
- ◆総会・研修会のお知らせ…………… 8
- ◆いんふおめーしょん…………… 8



茨城国民文化祭を視察して

山梨県芸術文化協会会長 野口 英一



関東平野の北東に位置する水戸市。日本三名園の一つとして梅で有名な「偕楽園」をはじめ、水戸黄門でおなじみの水戸徳川家ゆかりの文化・歴史が今なお息づく街である。水戸市にある茨城県民文化センターを会場に「第23回国民文化祭・いばらき2008」の幕が上がった。オープニングフェスティバルのプロローグは茨城県が生んだ詩人・野口雨情の「シャボン玉」「七つの子」など懐かしい童謡のオーケストラ演奏である。ステージ上の大型ディスプレイに、海・

山など茨城の自然美が映し出され、心地よいメロディーと美しい映像が重なり合い郷愁を誘う。

昨年11月1日、山梨国民文化祭に向けた視察のため、萩原三雄委員長をはじめとする基本構想検討委員会・起草委員会のメンバーの皆さんと第23回国民文化祭オープニングフェスティバルに参加した。プログラムは「歴史・伝統」「自然の恵み」「文化と人々のかかわり」など4部構成であり、和太鼓演奏を始めとする伝統芸能、創作舞踊、合唱などが次々に演じられ、茨城の歴史・文化を集約した見事なステージを繰り広げた。中でも、サテライト会場である常陸大宮市西塩子地区に伝わる日本最古といわれる組立式農村歌舞伎舞台、坂東市の県自然博物館の2カ所をライブ映像でつなぎ、大型ディスプレイを通じてある時は多元的に、また一体的に華やかなオープニングを演出していたのが印象的だった。茨城国文祭は、このオープニングフェスティバルを皮切りに9日間、県内34市町村で64事業を展開。計118万人を超える人々が足を運び成功のうちに終わった。

山梨国民文化祭まで4年余り。現在、起草委員会の皆さんを中心に来年春、横内正明県知事に対し基本構想を提案すべく策定作業を進めている。今回の茨城視察は時間的には短かったものの、国民文化祭の「空気」が体感できたことは大きかった。と同時に、目に映るものすべてを「これが山梨ならば…」という視点で置き換え、観察することに努めた。「ワイン」「富士山」「ジュエリー」「織物」…。「山梨らしい国文祭ー」が頭の中にぼんやりと浮かんだ。このイメージを、今後の基本構想策定の中で少しずつ具現化させていくつもりである。日程的には短い視察であったが得るものは十分にあった。

山梨開催までの道のりは長く、不安要素もたくさんある。だが、「文化・芸術」など既存の枠組み、世代を越えて県民が知恵・力を結集すれば、必ずや歴史に残る「国文祭」が開催できるはずである。まだまだ秘めた“山梨県民のパワー”を最大限に発揮する場と位置付けたい。加えて、長く煩雑な準備の中で生まれる経験と新しい交流・ネットワークは、国文祭だけの一過性のものではなく、その後の山梨の文化を支え、はぐくむ大切な土壌にもなる。思いを新たにし茨城視察を終えた。



第 8 回やまなし県民文化祭への参加状況

●●● 総合舞台

3月8日（日）県民文化ホール大ホール

創作舞台～片葉の葦の里伝説～「琴路の恋唄」

第3回やまなし県民文化祭の「奈良田物語」第4回の「異聞・甲斐湖水伝説」第5回の「なまよみの国から」第6回「風の中の頼たち」に続き、本県と関連のある題材をテーマとして創り上げられた舞台。

今回は、古（いにしえ）の王領の地、奈良田に住む若者「吾平」と隣村の美しい娘「琴路」の出会いから別れに至るまでの心象風景と、そこに迷い込んだ現代の高校生達の心模様が、音楽や踊りを交えて描き出された。

舞台部会各部門がそれぞれの活動、表現の枠を超えて力を集結し、総合舞台の名にふさわしい舞台を創り上げることができた。

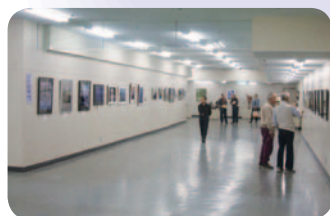
各部門参加者は厳しい日程の中、それぞれの力を遺憾なく発揮し、来場者からの惜しみない拍手に笑顔で応えた。



●●● 総合展示

10月15日（水）から19日（日）県民情報プラザ地下展覧会場において「美の饗宴 ～自然・山・紫水明～」と題し、展示部会各部門が参加。県内の指導的立場にある方々の作品108点を一堂に展示した。また、会期中に各部門の体験コーナーでは、多くの方々が参加し、仕上げた作品を満足そうに持ち帰っていた。土曜と日曜の午後には、恒例になった茶道部門による呈茶と邦楽部門による演奏も行われ、訪れた方々に優れた芸術文化の鑑賞と併せて、心地よいひとときを提供することができた。

また、2月11日（水）から2月15日（日）まで同会場で行われた「合同展示」でも展示部会が中心となり、運営を担った。



会場内の様子



体験コーナー



呈茶・邦楽演奏

●●● 部門別フェスティバル

8月の音楽部門を皮切りに発表・舞台・展示部門の各部門それぞれが、特色ある事業を実施し、県民文化祭を盛り上げた。



各受賞者の紹介

平成 20 年度に山梨県芸術文化協会の関係者で「地域文化功労者文部科学大臣賞」「山梨県文化賞 文化功労者賞」「山梨県文化賞 奨励賞」を受賞された方々を喜びの声とともにここに御紹介いたします。

地域文化功労者文部科学大臣賞

文部科学大臣より地域文化功労表彰を受けて

鶴田 信俊（一杏）

この度、山梨県文化・教育行政のご推薦の下、平成 20 年度地域文化の振興に顕著な功績のあった個人に対し、平成 20 年 11 月 28 日東京都千代田区一ツ橋「如水会館」に於いて開催された文化庁主催の地域文化功労者表彰式にて、塩谷立文部科学大臣より文化功労者賞を拝受致しました。この表彰に与かった事は、私にとりましてこの上なき光栄の極みであります事はもとより、今日まで私をお導き戴いた関係各位、並びに諸団体のご支援、ご指導のお陰と改めて衷心より感謝と御礼を申し上げます。



齊藤 静輝



佐藤眞佐美



五味 泰平



山梨県文化賞 文化功労者賞

山梨県「文化功労者賞」を受賞して

私、絵筆を持って早五十年程になります。好きなことならと両親の反対をおしきって、東京へ遊学、苦しいことばかりながら、いい絵を少しでも描き上げたい、続けることができればと、夢の中を一步一步足あとをつけながら歩きつづけてきた想いです。山梨にあっては二十才台で県の芸術祭にかかわり、横の人と作品でより人間的に中のある行動が縦の線である作品群に中を広げてきたように今は思います。山梨美術協会を又国画会を主軸に自分の存在を表現域あらしめる中で追求してきました。芸術祭運営から文化祭への移行期に理事として、「芸文協」のたち上げに、広く山梨の文化活動にもかかわり続けてきたように、その県の文化的「色づけ」を染め上げられてきたように……。この度の「文化功労者賞」受賞を走り続けた「あかし」としてうれしくいただきました。又元気で動ける限り明日に向って歩きつづけます。

山梨県文化賞 奨励賞

受賞の言葉

母の実家の名字は奥水といった。わたしの生まれ育った知床では非常に珍しい。後年妻の故郷山梨を訪れ、電話帳を見て不審に思った。奥水がずらりと並んでいる。すぐ郷里の役場へ、母方の祖父の戸籍謄本を請求した。なんと祖父は高根町の出身であった。富士山が山梨にあることすら知らなかった山梨音痴のわたしのからだの血の半分が山梨県人であったとは。

明治 40 年に山梨県を大洪水が襲い、3,500 人の人が北海道羊蹄山の麓に開拓に入り新山梨村を築いた。祖父はその一人であった。昭和初年に村は消滅し地名のみ残った。その後祖父はどのような経路をたどったのか、知床でわたしの父方の祖父と出会い、その長女と私の父とが結婚した。

わが家の裏を笛吹川が流れている。わが祖父も水の犠牲となって北の果てまで流され、そこで育ったわたしは、祖父が北海道へ生み落とした権三郎ではなかったか。この受賞は祖父がわたしを哀れんでくれたものではなかったか。そんな感慨をしみじみと噛み締める今日この頃である。

山梨県文化賞 奨励賞

先輩の助言

この度は山梨県文化賞奨励賞をいただき、ありがとうございます。中学校の美術教師として歩み始めた若かりし頃、いつも親切に指導・アドバイスをしてくれていた先輩の先生から、「自分が絵を描かない美術教師なんてダメ教師だよ」と言われたことがありました。それから、このことばを教訓にして自分の制作にも力を注いできました。

今回、このような文化賞奨励賞をいただけたのも、あの時、あの助言があったからこそだと、つくづくその有り難さを感じています。

それと同時に、この受賞の重さをしっかり受け止めて、これからも美術を志す仲間達と力を合わせて、若い力の育成にも力を注いでいきたいと思います。

今後とも皆様方のご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

山梨県文化賞 奨励賞

更なる伝統文化の発展を

岡田 清光（稻香）

山梨大学において教員免許を取得するために、荒井碧堂先生に書の手ほどきを受けたのが大学 1 年のときであった。温かな先生の指導法は、よいところを誉めて伸ばすという教育の原点にあった。ほとんど書の経験を有しなかった私は、先生の「良く書けましたね」という一言で励まされた。書道の単位を取得するという目的から始まった私の書の道は、もう 50 年を経過している。縁あって高校の書道教師になったことが決定的であった。書は深遠である。文字を素材とするがゆえに、哲学的であり文学的であり宗教的でもある。行者のような日々の修練も必要とする。そうした多様性と複雑性が書の魅力であり楽しさである。こうした伝統文化の道に携われたことに喜びを感じている。今回受賞できたことは、周囲の関係者の支えあつてのことと深く深く感謝している。



山梨県文化賞 奨励賞

山梨県文化賞奨励賞を受賞して

岩谷 賢



この度、山梨県文化賞奨励賞を賜り身に余る光栄と深く感謝を申し上げます。

在職中は山梨県高等学校文化連盟写真部の委員長として微力ながら高校生の写真教育に携わってきました。若い感性に刺激を受けながら指導に当たった日々が懐かしく思い出されます。又、退職後は良い仲間恵まれ共に学びながら写真文化の発展を願い活動を続けています。その間、写真はモノクロからカラーへ、更に現在はデジタルが主流の時代になりました。急激な進歩に戸惑い学ぶ事の多い日々ですが、この賞を励みに受賞の期待に応えられるよう精進を重ねる所存です。

最後に受賞にあたり長い間、支えていただきました諸先輩や団体の皆様、又、ご苦労いただきました関係者の方々に心より御礼を申し上げますと共に、尚一層のご指導をお願い申し上げ、喜びの言葉といたします。

山梨県文化賞 奨励賞

山梨県文化賞奨励賞を受賞して

窪田千鶴子（高山一能）



この度、山梨県文化賞奨励賞を賜り、身に余る栄誉と深く感謝申し上げます。

思えば、今は亡き父である華道家高山一能の元で東山源氏千家古流の弟子となり、親子でありながら昔気質の指導を受け、その中で花の持つ自然の美しさ・優しさに引かれ、未熟ながらも家元を継承し、多くの先輩の方々、又、門下生の方々に助けられ育てていただいたお陰と存じます。本当にありがたいことです。

この受賞を新たなスタートとし、今まで受けた幸せを基に自己の研鑽を積みつつ後進の指導にあたり、微力ではありますが本県の芸術文化向上の為に役に立ちたいと願っております。受賞にあたり華道協会会長様を始め諸先生方のお力添えに心より御礼申し上げます。

この後もし指導の程お願い申し上げます。

山梨県文化賞 奨励賞

山梨への想い

金森 静子



今日も甲斐駒ヶ岳は煌めく朝日の中に燦然とその勇士を顕しています。南には富士、北には八ヶ岳を臨む、この自然豊かな山梨に生まれ育った事を本当に感謝しております。

大学卒業後、住居は東京になりましたが、故郷への想いは募るばかりでした。そんな折、ご縁を戴いて、山梨で芸術文化に関わるお仕事をして頂く事が出来るようになりました。唯々楽しんでさせて頂きました事に、この様な栄誉を与えて頂き、正直戸惑っております。

これからは山梨の芸術文化の向上に多少なりともお役に立てるような事をしたいと思っています。今の世の中について行けなくて心を病んでいる沢山の人の心に、県民オペラ、県民文化祭、ふれあいコンサート等、音楽を通して少しでも「生きる事への希望の光」を持って頂くことが出来たらと思っています。

笑顔の山梨がキャッチフレーズになるよう微力ながらお手伝いして参りたいと決意を新たにしているところです。

山梨県文化賞 奨励賞

伝統

今井 貞三



この度は文化賞奨励賞を戴き、感謝しております。顧みますと40年近く前、姉が始めた、ふたば会というグループに仲間入りして以来、謡曲の稽古を続けて参りましたが、その間の殆どは男性のみの同好会、長謡会のお世話になって現在に至っております。

この会は県下の高校長の謡曲同好会として始まった会で、“毎月1回集まって宝生流の全36巻180曲を、ほぼ3年半かけて全曲稽古する”、という全国的にも一寸珍しい同好会です。昭和32年の4月からずっと同じ方針を続け、もう半世紀を越えました。

会には先輩も居られ、特に私が受賞する理由もないので、県芸術祭、県民文化祭の手伝いをしてきたご褒美だと考えておりますが、芸道の奨励賞としては、長い伝統のある長謡会全体として戴いたものと考えております。有難うございました。

山梨県文化賞 奨励賞

山梨県文化賞奨励賞をいただいて

酒井 順子（花柳鶯香）



この度、「山梨県文化賞奨励賞」をいただき、驚きと共に、身に余る光栄と思っております。師籍40年、悲喜交々の歳月の中で好きな道を続けてこれたのは、師、先輩、生徒、多くの友人や家族の助力があったからこそと深く感謝しております。

山梨県芸術文化協会発足当初より、部門長や副部門長として、日舞部門としての諸活動や、総合舞台を通しての各部門との交流等に、微力ながらも尽力させていただいております。

日本舞踊人口減少の中、「伝える努力」、「広める努力」を主軸に、平成25年に文化の祭典「国民文化祭」がここ山梨で開催されますが、日舞部門としては、山梨らしい企画を準備できるよう会員の理解を深め、また、後進の指導に力を入れていく所存です。

この賞を「頑張りなさい」と受け止め、さらなる精進をいたしたいと思っております。



部門の紹介

茶道部門の紹介

「一盃から和の心を広げよう」

茶道部門長 鶴田 宗慶

日本の伝統文化の中でも最も深淵なる文化と云われている茶道と対している茶道部門の活動状況を紹介させていただきます。茶道部門では県芸術祭協賛事業より今日に至るまで歩みを進めて参りました。現在は、山梨県芸術文化協会茶道部門として、抹茶道→有楽流、裏千家、江戸千家、表千家、大日本茶道学会の5流派と煎茶道→1流派の6流派によって構成されております。

主要行事と致しましては、やまなし県民文化祭部門別フェスティバルにおいて茶道部門としてやまなし県民文化祭大茶会を毎年10月第2日曜日に開催しております。その折には6流派が趣向を凝らした実に見事なもてなしの茶席を設営し、老若男女を問わず大勢の参加者で終日賑わい、昨年も3,045名の入席者を迎える事が出来ました。入席者の方々の中からは、1時間待ち、2時間待ちの声も聞かれ、頭の痛い問題もかかえております。

又、6月8日には、恒例の芸術文化講習会を東京の地に求め、畠山記念館を見学、天下の大名物である細川井戸茶盃、利休作茶杓を直接拝見し、三井記念館では野外での喫茶を大いに楽しんだ様子が伺える遊び心あふれる茶箱、茶籠の数々を拝見し、茶の湯をたしなみ尽くした人が行きつく究極の趣味世界をかいま見る事が出来、参加者一同はため息をつきながら堪能しました。茶の湯における豊かな心を養う事が出来ました。



6月11日には、山梨県芸術文化協会指導者派遣事業として、南アルプス市のわかば支援学校の要請により、35名の生徒達にお辞儀の仕方、お菓子の頂き方、お茶の頂き方等を指導させて頂き、大いに喜ばれ、まさに一盃のお茶から展開された人の心の和が広がりました。

又、これも恒例になっております、10月第3土・日曜日にやまなし県民文化祭部門別フェスティバル・展示部門の一環として、茶道部門では情報プラザ地下展示会場において呈茶席を設け、2日間にわたり、400名の方々に無料呈茶をさせて頂いております。その他と致しましては、山梨県立文学館のご好意により、芸術の森公園茶室「素心菴」において、誰でも気軽に入席出来て茶の湯を楽しめる様、呈茶席を設けております。年に11回、各月の日曜日に開催しております。

又、今年度初めて実施した事です、12月7日に県文祭部門別フェスティバルの一環として、初心者の方の親子・茶道体験教室を、芸術の森公園茶室「素心菴」において開催しました。幼児から大人まで、120名の親子連れが参加し、蹲踞（つくばい）の使い方、茶席への入り方、立ち方・座り方、お辞儀の仕方、床の間の拝見の仕方、お菓子の取り方・頂き方、お茶のたて方・出し方・頂き方を大変楽しく学んで頂く事が出来ました。沢山の好評の声を聞いて終了する事が出来ました。

以上が年間行なっている行事ですが、これからも1人でも多くの県民の皆様にもてなしの文化である茶の湯を通して、大きく和の文化を広げて、来たる国民文化祭に向けて大きな力になって下さる事を期待します。





「第24回国民文化祭・しずおか2009」が開催されます

皆さまご承知のとおり、平成25年に山梨県において、日本最大級の文化イベントである「国民文化祭」が開催されることになり、県では、「山梨県国民文化祭基本構想検討委員会」（会長：野口英一芸文協会会長）を設置し、開催に当たっての基本的な考え方や名称、テーマ、会期、事業構想など、大会の骨格となる「基本構想」を検討しています。

平成21年度は、お隣の静岡県にて「第24回国民文化祭・しずおか2009」（愛称：はばたく静岡国文祭）が開催され、当協会からも多くの部門から参加を予定しています。この機会に会員の皆さまの積極的な視察をお願いいたします。



平成20年10月25～26日に開催された「はばたく静岡国文祭プレフェスティバル」の様子

「第24回国民文化祭・しずおか2009」主要事業一覧

事業名	開催日	開催市町村・会場	事業名	開催日	開催市町村・会場
音	THE オペラ	10月25日(日) 【浜松市】 アクトシティ浜松大ホール	文	文芸祭「短歌」	10月24日(土)～11月8日(日) 【熱海市】 南熱海マリンホール・起雲閣ほか
	吹奏楽の祭典	11月3日(火・祝) 【浜松市】 アクトシティ浜松大ホール		文芸祭「俳句」	11月2日(日)～3日(火・祝) 【島田市】 島田市民会館ほか
	マーチングバンド・パトントワーリングの祭典	11月7日(土) 【浜松市】 浜松アリーナ		文芸祭「連句」	10月24日(土)～11月1日(日) 【裾野市】 裾野市民文化センターほか
	オーケストラの祭典	11月1日(日) 【浜松市】 アクトシティ浜松大ホール		文芸祭「川柳」	11月1日(日) 【長泉町】 長泉町文化センターバールフォーレ
	ジャズフェスティバル	11月1日(日) 【浜松市】 アクトシティ浜松中ホール		文芸祭「現代詩」	11月1日(日) 【掛川市】 掛川市生涯学習センターホール
	ハーモニカフェスティバル	11月2日(日)～4日(火) 【浜松市】 アクトシティ浜松中ホールほか	芸	文芸祭「五行詩」	10月24日(土)～25日(日) 【清水町】 清水町公民館ほか
楽	大正琴の祭典	10月24日(土)～25日(日) 【浜松市】 アクトシティ浜松中ホール		伊豆文学フェスティバル	11月6日(金)～7日(土) 【沼津市】 沼津市民文化センター
	合唱の祭典	11月7日(土)～8日(日) 【伊豆の国市】 伊豆の国市長岡総合会館アクシスかつらぎ大ホール		全国吟詠剣舞道祭	10月25日(日) 【静岡市】 静岡市民文化会館大ホール
	少年少女合唱の祭典	10月25日(日) 【富士市】 富士市文化会館（ロゼシアター）大ホール		邦楽の祭典	10月24日(土)～25日(日) 【三島市】 三島市民文化会館大ホール
美	美術展「日本画、洋画、彫刻・造形、美術工芸・クラフト」	10月24日(土)～11月8日(日) 【静岡市】 静岡県立美術館、静岡県コンベンションアーツセンターグランシップほか	伝	民謡・民舞の祭典	10月25日(日) 【小山町】 小山町総合文化会館金太郎ホールほか
	はがき版画展	10月24日(土)～11月8日(日) 【由比町】 東海道広重美術館ほか		日本舞踊の祭典	11月1日(日) 【静岡市】 静岡市民文化会館中ホール
	美術展「書」	10月24日(土)～11月8日(日) 【浜松市】 クリエイト浜松		日本舞踊子どもの祭典	10月25日(日) 【沼津市】 沼津市民文化センター小ホール
	美術展「写真」	10月24日(土)～11月1日(日) 【富士市】 富士市文化会館（ロゼシアター）展示室		和太鼓フェスティバル	10月31日(土)～11月1日(日) 【藤枝市】 静岡県武道館大道場ほか
	美術展「デザイン・グラフィックアート」	10月24日(土)～11月8日(日) 【浜松市】 しずぎんギャラリー四季	舞	モダンダンスの祭典	11月1日(日) 【磐田市】 磐田市民文化会館
	ギャラリーアート in Fujinomiya	10月24日(土)～11月8日(日) 【富士宮市】 富士宮市内ギャラリー		クラシックバレエの祭典	11月8日(日) 【静岡市】 静岡市民文化会館大ホール
術	紙のアートフェスティバル	11月3日(火・祝)～8日(日) 【富士市】 富士市産業交流展示場「ふじさんめつせ」		フリーダンスフェスティバル	11月6日(金)～7日(土) 【浜松市】 教育文化会館「はまホール」ほか
	町並みと3城を結ぶアートフェスティバル	10月24日(土)～11月8日(日) 【掛川市】 横須賀城跡及び横須賀街道、掛川城周辺、高天神城跡ほか		ダンス交流フェスティバル	11月8日(日) 【静岡市】 静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ大ホール・海
	現代ガラスアートフェスティバル	10月24日(土)～11月8日(日) 【西伊豆町】 黄金崎クリスタルパークほか		パフォーマンスフェスティバル	11月3日(火・祝) 【函南町】 函南町中央公民館
	キッズアートフェスティバル	10月24日(土)～26日(月) 【静岡市】 ツインメッセ静岡南館	演	演劇「ビューティフル・フジヤマ」	10月25日(日) 【静岡市】 静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ中ホール・大地
	しずおか大茶会・お茶まつり	10月31日(土)～11月1日(日) 11月7日(土)～8日(日) 【静岡市】 静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ・交流ホールほか		演劇「三方原合戦」	10月31日(土) 【浜松市】 浜松アリーナ
	フラワーフェスティバル	11月6日(金)～8日(日) 【伊豆市】 修善寺虹の郷		演劇「江川太郎左衛門英龍伝」	10月24日(土)、11月1日(日)、8日(日) 【伊豆の国市】 伊豆の国市長岡総合会館アクシスかつらぎ大ホールほか
生活文化	生活文化総合フェスティバル	10月31日(土)～11月3日(火・祝) 【静岡市】 ツインメッセ静岡		オペラ「江川太郎左衛門」熱き心の火	10月25日(日) 【伊豆の国市】 伊豆の国市長岡総合会館アクシスかつらぎ大ホール
				こどもミュージカルの祭典	10月24日(土)～25日(日) 【磐田市】 磐田市民文化会館ほか

さらに詳しい情報は下記のホームページをご参照ください。

◇「第24回国民文化祭・しずおか2009」ホームページ

<http://kokubunsai.pref.shizuoka.jp/>

総会・会員研修会のお知らせ

日時 4月25日(土) 総会:午後1時30分～、会員研修会:午後2時～
場所 山梨県立文学館・講堂

甲府市貢川一丁目5-35 TEL 055-235-8080

総会 ・平成20年度 事業報告及び決算について
 ・平成21年度 事業計画及び予算案について

会員研修会

今回は、平成20年度茨城県における国民文化祭開催にあたり、中心となって企画・運営にあたられた、茨城県国民文化祭推進室 総務企画・広報担当 係長の、永塚広志氏を招いて講演会を開催します。「ふるさとの宝物探し～国民文化祭の魅力とは～」と題して、お話をさせていただきます。多くの会員の皆様のご来場をお待ちしております。

～プロフィール～ 永塚 広志 (ながつか ひろし)

昭和45年茨城県生まれ。筑波大学第三学群社会学工学類卒業。

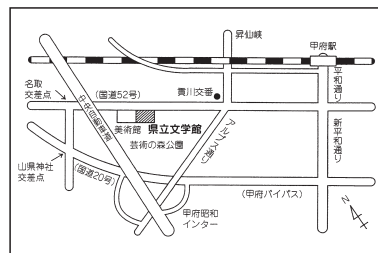
平成7年茨城県入庁。教育庁企画室広報担当を振り出しに、これまで主に広報・イベント畑を歩む。

平成11年から企画部ワールドカップ開催準備室にて2002FIFAワールドカップの広報・イベント業務を担当。平成13年からは2002年ワールドカップサッカー大会日本組織委員会(JAWOC)茨城支部へ出向し、スポンサー業務や広報・イベント業務を担当。ワールドカップではカシマスタジアムで3試合の運営を担当。

ワールドカップ閉幕後は、企画部情報政策課を経て、平成17年から生活環境部国民文化祭推進室にて国民文化祭準備業務を4年間担当。



◇問い合わせ先 山梨県芸術文化協会事務局(県生涯学習文化課内) Tel 055-223-1797 Fax 055-223-1322



いんふおめーしょん

会員活動紹介

写真部門

■第28回女性カメラクラブ「虹の会」写真展

日時:平成21年5月30日(土)～6月5日(金)

会場:山梨県立美術館ギャラリーC

■第8回山梨県写真団体連絡協議会合同展

日時:平成21年6月20日(土)～26日(金)

会場:山梨県立美術館ギャラリーA

内容:連絡協議会加盟31写真クラブが展覧する150点の写真展示

■第32回フォトクラブリターン写真展

日時:平成21年7月25日(土)～31日(金)

会場:山梨県立美術館ギャラリーB

■山梨フォトクラブ第26回写真展

日時:平成21年8月8日(土)～13日(土)

会場:山梨県立美術館ギャラリーB

華道部門

■第9回やまなし県民文化祭華道展 第19回山梨県華道協会展

会期:平成21年4月17日(金)～22日(火) 午前10時～午後7時

(18日(土)・20日(月)は午後5時終了、22日(火)は午後3時終了)

場所:岡島百貨店7階催事場

出展流派:山梨県華道協会加盟20流派

いけ花無料体験教室:平成21年4月17日(金)～21日(火)

1日2回(1回目12:30～13:30、2回目15:00～16:00) [毎回先着20名まで]

音楽部門

■山梨交響楽団第36回定期演奏会

日時:平成21年6月28日(日) 13:30開場 14:00開演

場所:山梨県民文化ホール・大ホール

指揮:北原幸男

曲目:スッペ/喜歌劇「軽騎兵」序曲、R.シュトラウス/交響詩

「ドン・ファン」、チャイコフスキー/交響曲第6番「悲愴」

入場料:一般1,500円 高校生以下1,000円

合唱部門

■平成21年度 山梨県合唱連盟定期総会

日時:平成21年4月19日(日)

会場:富士吉田市民会館

■第49回山梨県合唱祭

日時:平成21年6月13日(土)～14日(日)

会場:都の杜うぐいすホール

■第64回全日本合唱コンクール関東支部山梨県大会

日時:平成21年8月29日(土)～30日(日)

会場:東京エレクトロン美術館文化ホール

洋舞部門

■平林美奈子舞踊研究所発表会

日時:平成21年8月29日(土) 13:30開場、14:00開演

場所:県民文化ホール(大ホール)

内容:クラシックバレエ・モダンバレエ・ジャズダンス作品の上演、他県からのバレエ教室の参加も3団体あり

■第28回三井京子バレエ研究所発表会

日時:平成21年6月14日(日) 12:30開場、13:00開演

場所:県民文化ホール(小ホール)

プログラム:

1部 白の組曲・小品・バレエコンサート(グラン・パ・ド・ドゥ) お人形の組曲

2部 陽に向かって・小品・バレエコンサート(グラン・パ・ド・ドゥ) 森の詩

3部 コッペリア(第3幕)

■中村元子バレエスタジオ勉強会

日時:平成21年7月22日(木) 17:00開演

場所:県民文化ホール(小ホール)

民謡民舞部門

■第14回山梨県舞踊研究会発表会

日時:平成21年4月29日(水・祝) 10:00開場、10:30開演

場所:県民文化ホール(小ホール)

吟剣詩舞部門

山梨県吟剣詩舞道総連盟

■第59回全国吟剣詩舞コンクール山梨県大会

日時:平成21年4月26日(日) 10:00開始

場所:山梨県立文学館講堂

内容:合吟・剣舞・詩舞・独吟(剣詩舞と独吟は、幼少青年・一般一部・二部・三部)

山梨県詩吟剣詩舞総連盟

■クラウン全国吟詠コンクール山梨地区大会

日時:平成21年4月4日(土) 10:00～

場所:甲府市東公民館

■詩吟剣詩舞コンクール山梨県大会

日時:平成21年10月17日(土) 10:00～

場所:山梨県立文学館講堂(予定)